　令和３年度

高齢者・障害者介護サービス事業所

大分西地域包括支援センター 事業報告書

令和3年度は、新型コロナウイルス感染予防のために、通所サービス事業所や在宅サー

ビス事業所で利用を自粛する利用者が増えたことが影響し、全体的に売り上げを伸ばすこ

とが厳しかった。特に太平の里デイサービスセンターは、新型コロナウイルス陽性者が出

たことにより、見込んでいた利用者数を下回る結果となった。そのような厳しい状況では

あったが、創生の里デイサービスセンターは順調に稼働率を高め、昨年対比1,700万円、

目標対比1,530万円増と良い数字を挙げることが出来た。

　令和2年度より、ミャンマーから2名の外国人技能実習生の受け入れを継続しており、

1年前と比べ介護技術、語学力、コミュニケーション技術が向上し、いち介護士として仕

事を任せることが出来る場面も多くなってきた。

　人材確保として、ハローワークに加えて、折込チラシで求人募集することで、4名の職

員を採用することが出来た。

　新しい介護システム導入やタブレット、Ｗｉ－Ｆｉを活かした業務改善を進めており、

特に通所サービス事業所では、タブレットでの写真撮影、誕生日カードの作成、簡単な体

操等の動画視聴で重宝している。

　令和4年4月のオープンに向けて、令和3年10月より、障がい者グループホーム創生

の里の新築工事を着工した。

　例年参加していた地区の盆踊りや法人主催の「わかくさふれあい祭り」等は、コロナウイルス感染予防のため中止となったが、施設内で花見や干し柿作り、スイカ割り、クリスマス

会等を行い、少しでも季節感を味わってもらえるような行事を計画した。また、初めての試みで、臼杵市から竹灯籠をお借りして、ケアハウスや特養、支援ハウスで夜間灯篭を並べて

火を灯し、鑑賞会をしたり、創生の里玄関前に12月からイルミネーションを設置した。